

| 教科名 | 科目名  | 単位数 | 授業形態 | 系統 | 履修年次 |
|-----|------|-----|------|----|------|
| 国語  | 文学国語 | 2   | 一斉   | 共通 | 3    |

|          |                           |
|----------|---------------------------|
| 教科書（発行所） | 文学国語（大修館書店）               |
| 教科書以外の教材 | 共通テスト+センター試験 国語過去問題（尚文出版） |

| 目 標                  | 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを旨とする。   |  |                      |
|----------------------|--|--|----------------------|
| 学 期                  | 学 習 事 項  | 学 習 内 容  | 考 査 等                |
| 学習計画                 | 1 学期<br>【発見と批評】「檸檬」<br>・言語活動：視点を考えて書く<br>【言語と文化】『遊び』の伝統<br>【文化と伝統】「陰翳礼讃」<br>・言語活動：手紙を書く  | ・登場人物の感覚から、事物の多様な捉え方を知る。文体の特徴に着目し、その効果について考える。<br>・視点（語り手）を変えることで、新たな発見をしたり、作者の工夫に気付いたりして、読みの可能性を広げる。<br>・日本人にとっての「遊び」の存在意義を読み取る。筆者の見解をふまえ、「遊び」への考えを深める。<br>・日本文化についての感受性豊かな言語表現を読み取り、日本の伝統的な価値観やその変化について考える。<br>・自分の思いが相手に伝わるように書くにはどうすることが効果的なのか考える。 | 課題考査<br>中間考査<br>期末考査 |
|                      | 2 学期<br>共通テスト過去問題<br>R3年 第一日程・第二日程・第三日程<br>R4年 本試験・追試験<br>R5年 本試験・追試験<br>R6年 本試験・追試験   | ・共通テストの過去問題演習を通して、文章の内容を的確につかむ読解力と、根拠を持って選択肢を吟味し選ぶ力を身につける。   | 課題考査<br>中間考査<br>卒業考査 |
|                      | 3 学期<br>共通テスト過去問題<br>R7年 本試験・追試験<br>R8年 本試験・追試験<br>進学希望者がいる国公立大学、私立大学、各種専門学校等の過去問題演習と解説。   | ・共通テストの過去問題演習を通して、文章の内容を的確につかむ読解力と、根拠を持って選択肢を吟味し選ぶ力を身につける。   |                      |
| 授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 提出物・宿題の期限を必ず守る。</li> <li>2 授業中は必ず辞書を持参し、こまめに辞書を引く習慣をつけ、語彙力をつける。</li> <li>3 国語に苦手意識を持っていても、どれだけ努力をしたかが大切である。主体的・積極的に学習へ取り組もう。</li> <li>4 ノートやプリントは板書をそのまま写すだけで終わらせず、説明を集中して聞き、メモを取ったり、アンダーラインを引いたりする習慣をつける。ノートが自分の参考書になるので、後から復習で活用できるように丁寧にまとめる。</li> <li>5 1年間の学習を通して言語感覚を磨き、思考力や自ら進んで表現する姿勢を養おう。</li> </ol> |  |                      |

| 評価の観点 | 知識・技能   | 思考力・判断力・表現力   | 主体的に学習に取り組む態度  |
|-------|---|---|--|
|       | 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。   | 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 | 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 |
| 評価の方法 | 定期考査・課題確認テスト（小テスト）・課題レポート・日々題・週課題、授業に臨む姿勢や意欲及び自己評価を総合的に評価します。<br>いわゆるペーパーテストのみの点数がすべてではありません。身につけるべき能力をまんべんなく評価します。よって、テスト以外の普段の取り組みも評価の対象になります。知識・技能にもとづいた思考力・判断力・表現力も問うので、普段から、本質的な力を磨くようにしてください。 |   |  |